

## 「ちば・ふるさとの学び」 ～学ぶみなさんへのメッセージ～

これまであなたは、「郷土」「故郷」「ふるさと」などの言葉を耳にしたことがあると思います。

そこで、「あなたが育ったところって、どんなところですか。」と聞かれたら、あなたはどうか答えますか。

「郷土」については、

『郷土』を伝えるためには、わたしたちが郷土を知らなければならない。」

「わたしたちは、日本の伝統・文化やしきたりなどについて、あまり学んでこなかった気がする。」

など、様々な声が聞こえてきます。

現在、千葉県に暮らしているわたしたちですが、いざ「郷土」「故郷」「ふるさと」について聞かれると、きちんと説明することが難しいものです。

千葉県では、こうした子どもたちを含む多くの県民の意見をもとに、子どもたちが、郷土と国を愛し、真の国際人として活躍できる「教育立県ちば」の実現に向けて、千葉県教育振興基本計画「みんなで取り組む『教育立県ちば』プラン」を作りました。

そこには、みなさんにふるさと「ちば」の歴史や風土、自然などについて、もっとよく知ってもらい、郷土に自信と誇りを持ち、国際社会にはばたいてもらいたいという強い願いが込められています。

そこで、県教育委員会では、中学生のみなさんに、ふるさと「ちば」を再認識・再発見し、そのすばらしさを理解してもらえるよう、このテキストを作成しました。

この中では、「生物多様性」「歴史・文化・伝統」「食文化・健康・食育」「防災・安全・安心」「夢・仕事」のテーマごとに、千葉県の豊かな大地とそこにはぐくまれた「人」「もの」など「ちばらしさ」を伝える内容を、それぞれ本文・課題・資料によって学習します。

県教育委員会では、みなさんがこの学びを通して、ふるさと「ちば」のすばらしさを再認識するとともに、その良さを実感し、郷土の未来と自己の生き方を考えながら、これからの社会をたくましく生き抜く力を獲得してほしいと考えています。

また、先人の生き方を学ぶことで、人は助け、助けられることが大切であるという意識や、新しいことに挑戦しようとする意欲、最後までやり遂げようとする態度を身につけてほしいと考えています。

ふるさを形成するのは、みなさんを含むわたしたち県民一人一人であり、人々のふれあいであり、先人の知恵や努力であり、豊かな自然・歴史・文化・産業です。

今こそ、もう一度自分の足もとを見つめ、新たな発見を通して、ふるさと「ちば」と「わたし」の関係を考えてみましょう。